

令和 7 (2025) 年度

学習院大学大学院
政治学研究科 博士前期課程

一般入試問題 (A 日程)

2 時限目

専 門 科 目
(国際関係・地域研究コース)

1. 「国際政治」については、解答用紙裏面の使用を認めない。
解答用紙の追加を 1 枚まで認める。
2. 「東アジア」については、解答用紙裏面の使用及び解答用紙の追加を認めない。

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受 験 番 号		フリ ガナ	
								氏名	
試 験 科 目	令和7年度 一般入試(A日程) 国 際 政 治			備 考	問 題 用 紙			採 点 欄	

次の（１）から（５）の設問から２問選択し、それぞれ個別の解答用紙を用いて回答しなさい。その際、選択した設問番号を各解答用紙に明記すること。

- （１）安全保障のジレンマについてゲーム論を用いて説明し、ジレンマの解決方法を提案しなさい。
- （２）国家の対外行動と国内政治の関係について理論的に論じなさい。
- （３）地球環境問題の解決について公共財理論と国際制度論の観点から論じなさい。
- （４）第二次世界大戦後の欧州統合の発展について統合論の理論を適用して論じなさい。
- （５）国際的な人権規範の浸透プロセスについて理論的に論じなさい。

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試 験 科 目	2025年度 一般入試(A日程) 国 際 政 治			備 考	解 答 用 紙			採 点 欄	

5

10

15

20

25

30

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試験 科目	2025年度 一般入試(A日程) 国 際 政 治			備 考	解 答 用 紙		採 点 欄		

5

10

15

20

25

30

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受 験 番 号		フリ ガナ	
								氏 名	
試 験 科 目	令和7年度 一般入試(A日程) 東 ア ジ ア			備 考	問 題 用 紙		採 点 欄		

下記の問 1 と問 2 に答えなさい。
問 1 と問 2 は別々の解答题紙に、問題番号を明記して記述すること。

- 問 1：下記の設問 (1) ～ (3) に答えなさい。
- (1) 政治体制の類型である「民主主義体制」と「権威主義体制」の定義を整理しなさい。
 - (2) 東アジアにおいて「民主主義体制」「権威主義体制」に該当するものを、定義上その体制であることが明確になるよう、具体的な根拠を提示して分類しなさい。
 - (3) (2) で分類した政治体制のもとで、具体的な政策を選んで、その政策の形成・決定過程、および政策実施・遂行過程を、政治体制の特徴が明確になるよう、具体的に論じなさい (1 つの政治体制の特徴がわかるよう細かく論じても、2 つの政治体制の違いがわかるよう比較して論じても良い)。

- 問 2：下記の A・B のいずれかを選び、その設問 (1) ～ (3) に答えなさい。
- A. 戦後東アジアの国際関係に関連して、下記の設問について論じなさい。解答に際しては、使用する概念の説明も行ったうえで論述すること。
- (1) 戦後東アジアでの国交正常化の事例を 1 つ選択し、その国交正常化がいつどのような
になされたのかを整理し、なぜその時期に国交正常化がなされたのか、その要因を
論じなさい。
 - (2) (1) の事例において、国交正常化の際に「曖昧な処理をした」もしくは「顕在化し
なかった」問題が、後に両国間で争点化したケースを具体的に挙げなさい。
 - (3) 国際関係における歴史問題の争点化について論じる際、何に注目してどのように
アプローチするか、代表的な研究に言及したうえで研究方法を具体的に論じなさい。
- B. アジアにおける地域秩序の形成に際しては、経済連携協定などによる多国間関係が注
目されてきた。しかし、近年は経済のグローバル化が進むなかで、「国益」の追求を優先す
る政策が既存の国際秩序を脅かす事例も顕在化している。そうした問題に、既存の研究成果
からアプローチするため、下記の論点についてまとめなさい。
- (1) 経済の相互依存と安全保障の関係について、これまでの主要な議論と重要概念につ
いて整理しなさい。
 - (2) 東アジアにおける経済の相互依存と安全保障を検討するために適切な事例について、
その内容を具体的に説明しなさい。
 - (3) (1) でまとめた研究の蓄積を (2) の事例に適用して、現状の問題にいか
にアプローチして理解するのかを論じなさい。

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受 験 番 号		フリ ガナ	
								氏 名	
試 験 科 目	2025年度 一般入試(A日程) 東 ア ジ ア			備 考	解 答 用 紙			採 点 欄	

5

10

15

20

25

30

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受 験 番 号		フ リ ガ ナ	
								氏 名	
試 験 科 目	2025年度 一般入試(A日程)			備 考	解 答 用 紙			採 点 欄	
	東 ア ジ ア								

5

10

15

20

25

30